

行政学ゼミナール

教 授 山口 道昭

〈ゼミナールの目的・到達目標〉

このゼミナールは、多様な行政現象のうち、主として自治体に焦点をあて行政活動の実態分析を進めていきます。こうした結果、外部からではわかりにくい行政の仕組みや政策立案・実施過程を理解できるようになります。副次的には、公務員試験の面接の際などには有益な効果が得られるでしょう。

〈ゼミの内容、進め方〉

- (1) 2年次の前半は、基本書を読み込むことを主とし、基礎力を養成します。
後半は、各自の関心に基づきながら、共通の研究テーマを検討します。
※2年時に使用する基本書は、最初のゼミのときに指示します。
- (2) 3年次は、2年次に定めた共通の研究テーマに基づき、研究を進めます。現地調査を行うことを基本とします。
- (3) 4年生は、公務員試験に向けた答案練習や（ゼミⅢ）、これまでの活動をふまえ、自ら関心を持ったテーマを深く掘り下げていきます。適宜発表とディスカッションを行うなかで、希望者は、ゼミ論文の完成をめざします（ゼミⅣ）。

〈ゼミの年間スケジュール〉

- 4月 歓迎コンパ
- 9月 合宿（1泊2日）

〈成績評価〉

- 出席、作成レポートの内容、発言、ゼミ運営への貢献など。

〈求めるゼミ生像〉

- 基本的に、都道府県や市区町村などの自治体職員（事務職）になりたいと思っている学生。

〈選抜方法〉

- (1) 提出書類
 - 『川崎市市民オンブズマン平成28年度報告書』を読んだのレポート
 - ・上記報告書は、川崎市役所のウェブサイトからダウンロードできます。
 - ・直接のアドレスは、次のとおり。
<http://www.city.kawasaki.jp/750/cmsfiles/contents/0000087/87479/hokoku.pdf>
 - ・レポートの書き方
 - ①関心を持った箇所（統計、事例など）
 - ②関心を持った理由
 - ③自身の考え・理由 ※参考文献を参照し、客観的なものとする
 - ④参考文献一覧
 - ・分量 A4用紙 40字×40行、3枚以内 ※ワープロソフトで作成してください。
- (2) 面接 なし。

〈募集人数〉

- 10名程度。

〈教員からのお知らせ〉

- 疑問・質問は、メールタイトルに学籍番号と氏名を明記の上、micyamaguchi@ris.ac.jp へどうぞ。